

第34回

切です。カテゴリーをつくるためには

でカテゴリーを生み出すということが大

特徴に注目して同じところ、違うとこ

ろを探していく必要があるので、

図鑑

分ける。分かる。

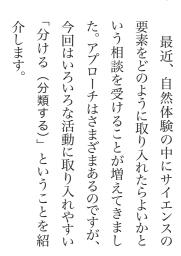
もあるのではないでしょうか。

この時、

どんな分け方であれ、

自

子どもたちとワークショップをする 中で感じたことを発信したいと始め たこの連載も、早いもので5年目 となります。今シリーズではワーク ショップの中でよく受ける質問につ いて、僕がどのように考えているか お答えします。



や木の実の仲間分けをしたりすること あるかないかの二択分類や、 推論することができます。 因と結果を分けられるから因果関係を じめて比較することができますし、 でもできます。 いった視覚的な特徴による分類は幼児 自体は難しくありません。 とBが違うものであると区別できては 分けることは思考力の基本です。 自然観察会でも葉っぱ ある特徴 分けること 色や形と 原 感

す。 る分類よりも科学的な思考力が刺激さ アプローチを変えてみるのがおすすめで えたいの 力や観察力を育てたいのかによって、 植物の分類に関する知識を教 植物を素材に科学的な思

当てはめる分類と、

を見ながら既存のカテゴリーに当ては

人が考えたカテゴリーに当てはめて

生み出す分類

学習や日常へつなぐ

日常生活にもつながります。 を似たものでまとめながら記憶していつ の高いものを仕分けたり、 自分で分類する力は、 部屋の片付けをする時に使用頻 漢字や英単語 学習でも

がありますよね。 なにより自分で考えた分け方は それに対して、 他

こないんだけど… ということがあり という話も聞きます。 頓が苦手な子が、 けなさいと言われると、 くるところから始めたら片付けできた 親や先生が決めた分類では整理 自分でカテゴリ 自分はしつくり

工夫ですので、ぜひお試しあれ それぞれ自分に合ったものを考えると、 いろいろな活動の中に取り入れら すっと自分の中に入りやすくなります。 分類は思考力の基本だからこそ、 れる



過去の記事「考えるって面白いかも!? パート2:第2回『考える力』を育 てる最初の一歩」ウェブページ



鴨川 光

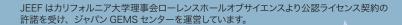
(かもがわ ひかる)

1987年茨城県生まれ。ジャ パンGEMSセンター主任 研究員。早稲田大学大学 院教育学研究科修了後、 2013年6月より現職。子 どもの思考力や社会性の発 達について研究している。 ワークショップやボランティ アを通して子どもたちと一 緒に成長中。



ジャパン GEMS センター https://japangems.org/





をつ